【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【公開番号】特開2009-109849(P2009-109849A)
【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)
【年通号数】公開・登録公報2009-020
【出願番号】特願2007-283455(P2007-283455)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０９Ｇ　3/20　６８０Ｃ
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｊ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｅ
Ｇ０２Ｆ　1/133　５０５
Ｇ０２Ｆ　1/133　５１０

【手続補正書】
【提出日】平成22年10月22日(2010.10.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７１】
所定のタイミングで、走査線１１ａに走査線駆動回路１０４からの走査信号がパルス的に印加されると、スイッチング素子であるＴＦＴ３０を一定期間だけそのスイッチを開くことにより、データ線６ａから供給される第１又は第２画像信号Ｖｄ１又はＶｄ２が所定のタイミングで画素電極９ａに書き込まれる。画素電極９ａを介して電気光学物質の一例としての液晶に書き込まれた所定レベルの第１又は第２画像信号Ｖｄ１又はＶｄ２に対応する印加電圧は、対向電極との間で一定期間保持される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８１】
各グループのデータ線６ａにおけるデータ線６ａは夫々、２種のイネーブル信号ＥＮＢｘ１及びＥＮＢｘ２のいずれか一方又は両方に基づいて、対応するＡＮＤ回路１１４により選択されて、第１又は第２画像信号Ｖｄ１１～Ｖｄ１Ｎ又は第１又は第２画像信号Ｖｄ２１～Ｖｄ２Ｎが供給される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４０
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０１４０】
本実施形態では、特に、第１サブフィールドＳＦ１では、同一の出力ＳＲ１に基づいて、走査信号Ｇ１及びＧ２が同時に出力される。同様に、同一の出力ＳＲ２に基づいて、走査信号Ｇ３及びＧ４が同時に出力され、同一の出力ＳＲ３に基づいて、走査信号Ｇ５及びＧ６が同時に出力される。このように第１サブフィールドＳＦ１では、走査線が２本ずつ同時に選択される。これに対して、第２サブフィールドＳＦ２～第４サブフィールドＳＦ４では夫々、出力ＳＲ１に基づいて、走査信号Ｇ１又はＧ２が出力される。同様に、出力ＳＲ２に基づいて、走査信号Ｇ３又はＧ４が出力され、出力ＳＲ３に基づいて、走査信号Ｇ５又はＧ６が出力される。このように第２サブフィールドＳＦ２～第４サブフィールドＳＦ４では夫々、走査線は１本ずつしかも一本おきに選択される。